

## 河川レンジャーの募集から任命までの流れ

### 1. 募集から任命までの流れ

淀川管内河川レンジャーになるには、淀川流域に在住する満 18 歳以上の男女を対象に実施される淀川発見講座およびレンジャー養成講座を受講した上で、プレゼンテーション審査を受けることが必要である。プレゼンテーション審査において代表者会議から推薦を受けた者が、各出張所管内運営会議より河川レンジャーに任命される。

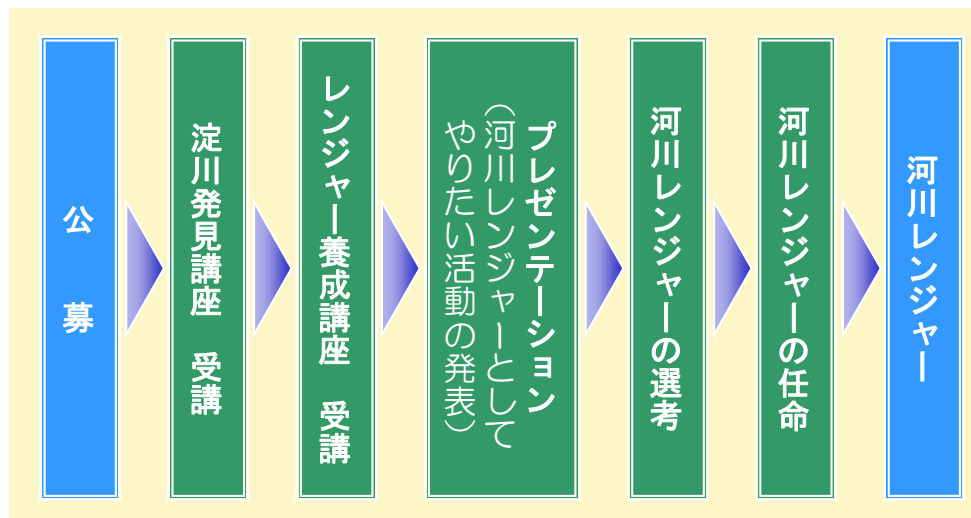


図 河川レンジャーの募集から任命まで

### 2. 淀川発見講座・レンジャー養成講座実施体制～レンジャーづくりはレンジャーで

淀川発見講座・レンジャー養成講座は、淀川管内河川レンジャー実行委員会によって講座内容の企画、運営が行われている。本年度は作業部会としての講座部会が設置され、講座内容の詳細についての検討が行われた。

#### ■ 淀川管内河川レンジャー会議～レンジャーの自主的活動機関

##### ■ 河川レンジャー実行委員会～自主的な活動、計画づくりへ

- ・ 淀川河川事務所とともに講座を主催
- ・ 様々な課題の具体的検討

##### ■ 講座部会

講座に関わるあらゆる課題、  
細目の検討等

図 レンジャー会議と実行委員会、講座部会の関係

淀川発見講座、レンジャー養成講座に関連して、実行委員会（前回運営会議以降計6回）、講座部会（4回）で様々な議論が行われてきた。

講座運営については、かつての講座受講生であったレンジャーの視点を活かして、きめこまやかな議論、準備が行われた。その結果、当日の役割分担として、受講生とのコミュニケーションを行う「コミュニケーション係」、講義内容を確認する「アンケート係」が新設された。また、養成講座3日目の「河川レンジャーへの理解」では、レンジャー活動を生の声で伝えるようプログラムに工夫が加えられた。

表 実行委員会および講座部会開催状況

会議名	開催日時	講座に関わる議事内容
第14回実行委員会	平成23年2月25日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座科目、講師案が決定。</li> <li>講座運営は、発見講座・養成講座の垣根なく担当者全員で行う体制とする。</li> </ul>
第15回実行委員会	平成23年3月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講生を増やすため、堤防付近サインを設けてにポスターを掲示</li> <li>水位観測所(枚方)の回転表示灯で講座募集の案内を行う。</li> <li>河川レンジャーは活動の中で講座を紹介する。</li> <li>講座部会を設置し、具体的な内容を検討していく</li> </ul>
第1回講座部会	平成23年4月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座運営体制の確認ーレンジャーの役割分担の明確化</li> <li>「淀川探訪」ルート検討</li> </ul>
第16回実行委員会	平成23年4月27日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>養成講座1日目「河川レンジャーへの理解」の講師は、講座部会より推薦があった池宮レンジャー、中川ゆんじや、山口レンジャー、福井レンジャーに依頼する。</li> <li>講義で使用されるパワーポイントは受講生に配布する。</li> <li>講師担当者はパワーポイントも配付資料となることを講師に伝える。</li> <li>エフエムひらかたの“枚方 きいて納得！”の番組で河川レンジャー及び発見講座について紹介される予定であり、インタビューは事務局が対応。</li> </ul>
第2回講座部会	平成23年5月12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座運営体制、役割分担の検討</li> <li>全体スケジュール検討</li> </ul>
第17回実行委員会	平成23年5月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座の配布テキストの印刷方法(カラー印刷の範囲)については、事務局がテキスト内容を確認して決定する。</li> <li>昨年の平成22年度受講生のうち、今回のレンジャー養成講座の受講資格をもつ7名について、レンジャー養成講座の申込み締切日(6月10日)までに事務局から本人に再受講の意志を確認する。</li> <li>講座の役割分担は、講座担当チームに一任する。</li> <li>講座部会からの提案のとおり講座の役割分担のひとつに講義アンケート担当係を加え、河川レンジャーが担当する。係は講義内容と受講状況を確認し、次年度講座の議論ができる材料としてとりまとめる。</li> </ul>
第3回講座部会	平成23年6月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>養成講座3日間の役割分担の確認、整理</li> <li>講師への依頼事項検討</li> <li>各プログラムにおける注意事項の整理</li> </ul>
第18回実行委員会	平成23年6月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発見講座を終え、講座部会から養成講座に向けた運営上の提案等が行われた。</li> <li>講義内に質問時間を設けるか否かは、各講師の判断に委ねる。</li> <li>講座部会からの提案は、各講義に質問時間を設けること以外は了承し、養成講座の運営に反映する。</li> <li>2日目が遅延となり、更に予備日が中止となった場合は、養成講座の全科目を修了できない。2日目の雨天・増水対応について、予備日を含め講師と協議する。</li> </ul>
第4回講座部会	平成23年7月22日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座全体の振り返り</li> <li>次年度講座運営に向けた方向性の確認</li> </ul>
第19回実行委員会	平成23年8月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座開催報告と次年度開催の方向性が検討された。</li> <li>次年度の講座も講座部会を設置して進めていく。</li> <li>講座の運営や講師との調整は講座部会が主体となり、関係資料も事務局が作成する。</li> <li>講座部会の進め方やメンバーについては、事務局と今年度の講座部会チーム(酒井レンジャー、谷岡レンジャー)で調整し、提案する。</li> </ul>

### 3. 講座実施概要

淀川発見講座は大阪会場、京都会場の2会場で2日間にわたって開催された。参加者は合計71名（大阪49名、京都22名）である。発見講座は河川レンジャーへの第1歩であると同時に、一般の方々に淀川への関心を深めていただくことも目的としている。

参加者アンケートでは「淀川への関心がもてた」「淀川を大切にしていきたいと思った」等の回答がおおむね8割を超えた。

#### 淀川発見講座（大阪会場）

■日 時 平成23年6月4日（土） 9:30～17:00

■場 所 中央流域センター  
大阪府枚方市桜町3-32  
(京阪本線 枚方公園駅から徒歩約6分)

■受 講 者 49名

■プログラム・講師



科目	時間	講師（敬称略）
開講式	9:30～9:40（10分）	淀川河川事務所長の挨拶
淀川の魅力	9:40～10:40（1時間）	川上 聡（元淀川管内河川レンジャー 核討懇談会会長）
淀川の特性と治水・環境	10:50～11:50（1時間）	綾 史郎（大阪工業大学 工学部教授）
昼休み	11:50～12:50（1時間）	
淀川のなりたち	12:50～13:50（1時間）	八木 滋（大阪歴史博物館 学芸員）
淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）	14:00～16:00（2時間）	大澤 研一（大阪歴史博物館 学芸員） 八木 滋（大阪歴史博物館 学芸員）
淀川と河川レンジャー	16:15～16:45（30分）	松岡 徹（淀川管内センター河川レンジャー）
閉講式	16:45～17:00（15分）	レンジャー養成講座の案内 河川レンジャー審査の説明 RACリーダーの説明


#### 淀川発見講座（京都会場）

■日 時 平成23年6月5日（日） 9:30～17:00

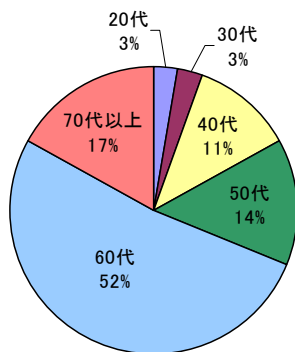
■場 所 上流域流域センター  
京都市伏見区葎島金井戸町官有地  
(京阪本線 中書島駅から徒歩約10分)

■受 講 者 22名

■プログラム・講師

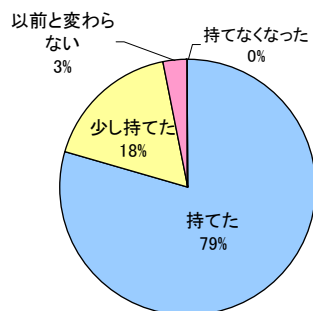


科目	時間	講師（敬称略）
開講式	9:30～9:40（10分）	淀川河川事務所長の挨拶
淀川の魅力	9:40～10:40（1時間）	宮本 博司（元淀川河川事務所長）
淀川の特性と治水・環境	10:50～11:50（1時間）	綾 史郎（大阪工業大学 工学部教授）
昼休み	11:50～12:50（1時間）	
淀川のなりたち	12:50～13:50（1時間）	三木 善則（御香宮神社 宮司）
淀川探訪（屋外歴史ウォーキング）	14:00～16:00（2時間）	三木 善則（御香宮神社 宮司）
淀川と河川レンジャー	16:15～16:45（30分）	松岡 徹（淀川管内センター河川レンジャー）
閉講式	16:45～17:00（15分）	レンジャー養成講座の案内 河川レンジャー審査の説明 RACリーダーの説明



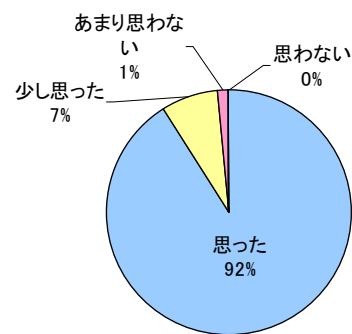
大阪会場・京都会場全受講生アンケート結果  
受講者の年齢構成（71名中有効回答者数71名）

Q. 講座を受講して淀川への関心が持てましたか？



大阪会場・京都会場全受講生アンケート結果  
関心の変化（71名中有効回答者数68名）

Q. 講座を受講して淀川を大切にしていきたいと思えましたか？



大阪会場・京都会場全受講生アンケート結果  
愛護心の変化（71名中有効回答者数68名）

レンジャー養成講座は3日間にわたり開催された。土のう作り体験や木津川での現場演習、ワークショップ演習も行われるなど、将来的なレンジャー活動を意識した、実践的でバラエティに富んだプログラムとなっている。

参加者アンケートでは、受講後の感想として「河川レンジャーになりたい」が最も多くなっている。

### レンジャー養成講座 ～1日目～

■日 時 平成23年6月18日(土) 9:40～16:30

■場 所 中央流域センター  
大阪府枚方市桜町3-32  
(京阪本線 枚方公園駅から徒歩約6分)

■受 講 者 28名

■プログラム・講師

科目	時間	講師(敬称略)	
開講式	9:40～9:50 (10分)		
河川レンジャーへの理解	9:50～10:50 (1時間)	山口 進・福井 波恵・池宮 實・中川 ゆり子 (淀川管内河川レンジャー)	
水と生活	11:00～12:00 (1時間)	原 稔明 (独立行政法人 水資源機構 関西支社長)	
昼休み	12:00～13:00 (1時間)		
川に学ぶ体験活動	13:00～14:00 (1時間)	田中 謙次 (RACトレーナー、環境文化研究所 主任研究員)	
水害と水防	講義	14:10～15:10 (1時間)	裕永 正光 (元淀川左岸水防事務組合 収入役)
	実習	15:20～16:20 (1時間)	
閉会	16:25～16:30 (5分)	レンジャー養成講座2日目の案内	

### レンジャー養成講座 ～2日目～

■日 時 平成23年6月25日(土) 9:25～17:20

■場 所 実 習：木津川 開橋周辺  
講義等：木津川出張所管内流域センター  
京都府木津川市山城町北河原

■受 講 者 31名

■プログラム・講師

科目	時間	講師(敬称略)	
開会	9:25～9:30 (5分)		
淀川其自然	10:00～12:00 (2時間)	河合 典彦 (淀川環境委員会 水域環境部会長)	
昼休み	12:00～12:45 (45分)		
水辺の安全	実習	12:45～15:45 (3時間)	佐藤 孝洋 (レスキュー3 ジャパン本部代表)
	講義	16:15～17:15 (1時間)	
閉会	17:15～17:20 (5分)	レンジャー養成講座3日目の案内	

### レンジャー養成講座 ～3日目～

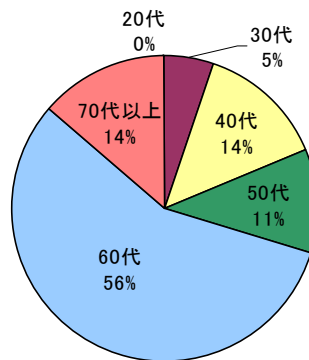
■日 時 平成23年7月9日(土) 9:30～16:40

■場 所 中央流域センター  
大阪府枚方市桜町3-32  
(京阪本線 枚方公園駅から徒歩約6分)

■受 講 者 33名(講座修了27名)

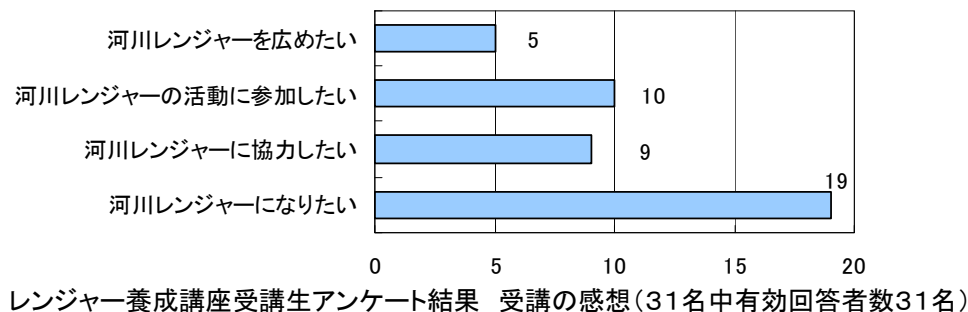
■プログラム・講師

科目	時間	講師(敬称略)
開会	9:30～9:35 (5分)	
活動計画づくりの基礎知識と実践	9:35～12:35 (3時間)	寺川 裕子 (NPO法人 里山倶楽部 理事)
昼休み	12:35～13:35 (1時間)	
河川のルールと利用マナー	13:35～15:05 (1時間30分)	井村 誠之 (元近畿地方整備局 水政課長)
これからの淀川	15:15～16:15 (1時間)	森川 一郎 (淀川河川事務所長)
閉講式	16:15～16:40 (25分)	修了証書の授与 河川レンジャー審査申請書類の説明 レンジャー活動演習の説明



レンジャー養成講座 受講生アンケート結果  
受講者の年齢構成(37名中有効回答者数37名)

### Q. 講座を受講してどのように感じましたか？(複数回答)



レンジャー養成講座受講生アンケート結果 受講の感想(31名中有効回答者数31名)

#### 4. 広報とその効果

関連自治体のご協力を得て、区役所や図書館等の公共施設においてポスター、チラシの掲示等が行われるとともに、数多くの広報誌に淀川発見講座の開催案内が掲載された。参加者アンケートによると、ポスター、チラシを見て参加した受講生が最も多く、次いで広報誌から情報を得た受講生が多くなっている。

その他、エフエムひらかたの“枚方 きいて納得！”(5/17放送)の番組において、河川レンジャー及び発見講座について、センターレンジャーのインタビューを交えて紹介された。

掲載された広報誌一覧(順不同、事務局調べ)

No.	広報誌名
1	広報にしよどがわ 平成23年4月号
2	広報ひがしよどがわ 平成23年5月号
3	広報みやこじま 平成23年5月号
4	広報ねやがわ 2011.5.15
5	広報ひらかた5月号
6	広報せつつ 2011.5.1
7	広報たかつき(TAKATUKI CITY NEWS) 4月25日号
8	広報しまもと 2011.5.1
9	市民しんぶん伏見区版 2011.5.15
10	広報長岡京 2011.4.15
11	宇治市政だより 2011.4.15
12	広報京たなべ 2011.5.1
13	広報くみやま 2011.5.1
14	広報じょうよう 2011.4.11
15	広報きづがわ 平成23年5月号

\*その他、メールマガジン「きんき環境館 2011年4月前半号」に掲載

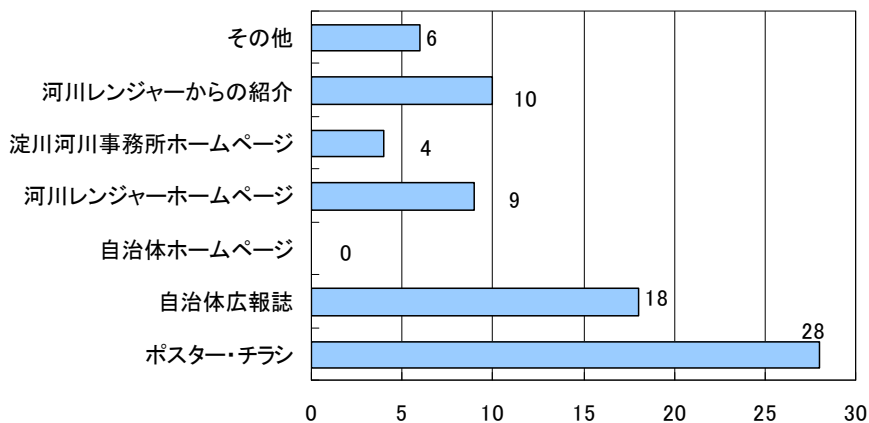
淀川の河川レンジャーに  
なりませんか

自然体験イベントや見学会などの講師・コーディネーターとして、淀川と人を結ぶ「河川レンジャー」を募集。淀川発見講座・レンジャー養成講座の受講が必要です。詳細は淀川管内河川レンジャーホームページ(Url: [www.river-ranger.jp/](http://www.river-ranger.jp/))をご覧ください。

淀川管内河川レンジャー事務局 ☎  
061-6801、環境総務課 ☎84  
1-1221代 ☎841-3039

広報ひらかた 5月号より

Q. 淀川発見講座はどうやってお知りになりましたか？(複数回答)



大阪会場・京都会場全受講生アンケート結果(71名中有効回答者数68名)

関連自治体のホームページでも発見講座の広報が行われており、河川レンジャーのホームページにおいて、大阪市西淀川区、城陽市、島本町の自治体ホームページからのアクセスがあった。

河川レンジャーホームページでは、5～6月に「河川レンジャー」等を検索して訪れる訪問者が増えており、ポスター、チラシや自治体広報誌及びホームページでの広報効果の結果であると考えられる。

なお、発見講座全申込者数81名のうち、47名が河川レンジャーホームページから申し込みを行うなど、今後も広報ツールとしての活用が期待できる。

表 発見講座等が紹介された自治体ホームページ及び河川レンジャーホームページへのアクセス数

	リンク元	合計
1	大阪市ホームページ	59
2	城陽市ホームページ	48
3	島本町ホームページ	19

(平成23年4～6月,事務局調べ)

#### 淀川管内河川レンジャーを募集しています

河川レンジャーとは、住民と行政が一緒になって川の管理や整備を行うため、住民と行政との間に立って、危険を伴わない範囲で役割を担い、活動を通じて河川と地域との良好な関係をつくっていくコーディネーターとして重要な役割を担って頂いております。平成15年度から活動を開始し、現在、淀川管内では27名の河川レンジャーが活動しています。

河川レンジャーになるためには、淀川発見講座・レンジャー養成講座の受講が必要となります。

淀川発見講座は平成23年6月4日(土)大阪(枚方)会場・6月5日(日)京都(伏見)会場で開催します。受講生募集期間は平成23年5月23日(月)までとなっております。

詳細につきましては、淀川管内河川レンジャーの[ホームページ](#)をご覧ください。

問合せ 淀川管内河川レンジャー事務局 電話 072-861-6801

西淀川区(大阪市)ホームページ

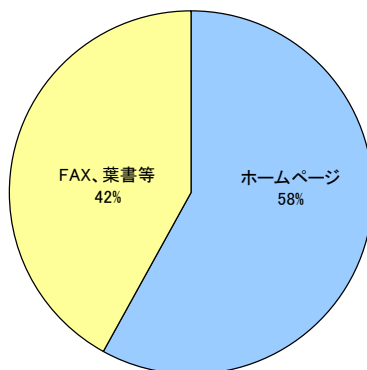


図 発見講座受講生の申し込み時利用媒体内訳

## 5. プレゼンテーション審査実施と結果

平成 23 年 9 月 4 日（日）に開催された第 6 回代表者会議では、全課程を修了した 20 名がプレゼンテーション審査（5 分発表、5 分質疑）に臨んだ。

代表者会議による厳正な審査、選考の結果、6 名が河川レンジャーとして推薦されている。

事務局では 9 月 14 日（水）に全審査申請者に結果通知書の発送を行い、15 日（木）にホームページ上で河川レンジャー推薦者の受講番号を公表した。

表 展開計画\*及び河川レンジャー推薦者(敬称略)

各運営会議	展開計画	応募者数	代表者会議推薦者		
			名数	推薦者	氏名
福島・毛馬	2名	5名	2名	R11-03	西岡 和昭
				R11-14	新里 嘉孝
枚方	2名	6名	2名	R10-01	後藤 圭一郎
				R10-09	玉井 理恵
高槻・山崎(大阪府域)	2名	2名	1名	R10-26	杉本 真一
伏見・桂川・山崎(京都府域)	5名	5名	1名	R11-08	居原田 晃司
木津川	1名	2名	0名	—	—
計	12名	20名	6名		

\*平成 23 年度河川レンジャー展開計画として、各出張所管内運営会議において本年度河川レンジャーとして推薦される最大の人数が決定されている。



第6回代表者会議(9/4 中央流域センター)